

## ◆防水 PH 計 FAQ

この FAQ は取扱説明書と共に保管し必要に応じて参照ください

### まず最初に

- このPH計は水槽の水や水溶液などのPH値を測定する為の物です。引火性液体や掘削油、ペンキ、薬品、食品、有機溶剤などの測定には向きません。
- 測定に不向きなものを測定した場合、センサーが故障、破損する場合があります。
- このPH計は防水型(IP57準拠)ですが、センサー接合部や電池蓋などの締め込みが完全でないと浸水し、故障するおそれがあります。
- 測定後はきれいな水でセンサーを洗い、水分を十分拭き取ってセンサーキャップ内に保存液をセンサーが浸る位充填してから保管してください。
- 使用後の洗浄、保存液の充填が十分でないとセンサーが故障、破損する場合があります。
- 異物混入を防ぐ為、校正を行う際センサーを標準液容器に直接入れず、標準液を別の容器に小分けにしてご使用ください。
- 校正標準液は使用状態、頻度にもよりますが未開封では1年、開封後の保存期間は約6カ月が交換目安です。
- PHセンサーは消耗品です。故障の場合には修理は出来ませんので新品購入をお願い致します。**

### 測定終了後について

- 長期間使用されない場合は電池を外して下さい。
- 2～3か月に1回は保存液の状態を確認して下さい。
- 保管は仕様書に記載の保存温湿度の環境にて願います。

こんな時に	ご確認ください
Q1 電源が入らない	A1 電池をお確かめください。 →正負(プラス/マイナス)が正しく装着されているかお確かめください。 プラス側が下向きとなります。 →電池を交換する際は2個同時に交換してください。 一方の電池のみ交換した場合、他方の電池の劣化や充電になる場合があります。 →電池残量をお確かめください。 購入時、製品内に装着されている電池は出荷前テスト用の電池ですので、残量が低下している場合もございます。必ず新しい電池に交換してください。
Q2 標準液での校正ができない	A2 PH7とPH4で校正に使用する校正ボリュームが異なります。 →PH7には『ZERO』と書かれた校正ボリュームを使用してください。 →PH4には『SPAN』と書かれた校正ボリュームを使用してください。 →校正ボリュームを回して数値に変化が見られない場合は、校正ボリュームを2・3周回し続けてみてください。ボリュームは多回転型となっています。 ご注意 ボリュームは回しすぎない様にしてください。 付属の調整ドライバー以外のものでもボリュームを回さないでください。故障の原因となる可能性があります。 (PH-6600の場合) CALボタンを3秒長押ししても校正できない。 →センサーが故障している可能性が有ります。
Q3 数値が変わらない	A3 センサーをお確かめください。 →保管時にセンサー先端部が浸る分量で保存液をケース内に補充してください。 保存液の量が十分でなく、センサーが乾きますと感度が低下して正確な測定ができなくなります。 保存液を使い切った場合は市販の塩化カリウム(KCl)溶液(3.3mol/L)を購入ください。 →センサーが本体と正常に接続されていないと測定出来ません。
Q4 校正標準液がなくなった	A4 PH4/PH7それぞれ標準液は別売でご用意がございますので、そちらをお買い求めください。 →PH4標準液:B-4 PH7標準液:B-7 (代理店様、販売店様経由にてお見積り)

Q5 数値が安定しない	A5 電池残量をお確かめください。 →電池残量が低下すると動作が不安定になり、数値が安定しない場合があります。 センサーをお確かめください。 →保管時にセンサー先端部が浸る分量で保存液をケース内に補充してください。 保存液の量が十分でなく、センサーが乾きますと感度が低下して正確な測定ができなくなります。 保存液を使い切った場合は市販の塩化カリウム(KCl)溶液(3.3mol/L)を購入ください。 (市販の精製水でも一時的な代用は可能ですが、お早めにKCl溶液をお買い求めください) →センサー保存液がなくなっていた場合、 長期間未使用又はカバー内に保存液が無くなりセンサー電極が乾いていた場合はセンサーが劣化、故障している可能性があります。
または、測定できない(Q5続き)	測定対象物をお確かめください。 →液体が循環していたり、外部から他の液体等が入ってくる場所や、流れている液体は数値が安定しない場合があります。 測定する液体はきれいなコップ等の容器に汲み取り、外部からの影響を受けないようにしてください。 →以下は測定出来ません。 固形物の測定対象物や土壌中にセンサーを直接差し込んでの測定。 →コップなどの容器の底にセンサーの先端を接触させたまま測定した場合。 センサー先端部を底から離して測定してください。 →強酸・強アルカリ、測定液の温度(高温)、汚れた溶液などはセンサー電極の劣化を早めます。 測定後はセンサー部に付着した液を十分洗い流してください。 汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めたもので洗浄し、その後は蒸留水又は精製水、水道水でよくすすいでください。 ご注意 センサー部を直接スポンジや布等で洗浄しないでください。センサー部破損の破損となります。 保存液の残量にはご注意ください。
Q6 保存液がなくなった	A6 保存液単品での販売は行っておりません。市販の塩化カリウム(KCl)溶液(3.3mol/L)をお買い求めください。 (市販の精製水でも一時的な代用は可能ですが、お早めにKCl溶液をお買い求めください) 長期間使用していなかった場合やセンサーカバー内の保存液が乾いてしまうと劣化/故障に繋がります。
Q7 本体が破損した	A7 本体部分の物理的な破損に関しては原則修理不可となります。 センサーのみ破損の場合はセンサー部だけの販売を行っておりますので、そちらをお買い求めください。 →センサー部:本体に合わせて型番指定が有ります(代理店様、販売店様経由にてお見積り) ※但し、本体にも破損/異常があった場合はセンサーを交換しても復帰しません。 本体が破損した場合は製品一式での買い替えとなります。
Q8 液晶の表示が薄い	A8 電池残量をお確かめください。 →電池残量が低下すると液晶表示が薄くなり読み取りにくくなる場合があります。
Q9 センサーの寿命はどのくらい?	A9 センサーの寿命は使用条件によります。 →使用方法・頻度、PHセンサーの保存環境状態、測定する溶液によって異なるためです。
Q10 電極やセンサーカバー内の白い物は何ですか?	A10 白い物は塩化カリウムの結晶です。 塩化カリウムは指に付着しても大丈夫ですが、なめたり飲み込んだりしないで速やかに水道水で洗い流してください。 ご注意 眼に入った場合、誤って飲み込んだ場合などは医師に相談してください。